

令和3年7月1日

令和3年第2回神奈川県議会定例会

総務政策常任委員会報告資料

政策局・総務局

目 次

	ページ
1 「かながわグランドデザイン 評価報告書2020」について……………	1
2 「第2期 行政改革大綱 令和2年度点検報告書（案）」について……………	3
参考資料1 かながわグランドデザイン 評価報告書2020	
参考資料2 第2期 行政改革大綱 令和2年度点検報告書（案）	

1 「かながわグランドデザイン 評価報告書2020」について

(1) 趣旨

令和元年7月に策定した「かながわグランドデザイン 第3期実施計画」に係る取組状況について政策評価を行い、政策運営の改善に資するとともに、その評価結果について県民との情報共有を図るため、「かながわグランドデザイン 評価報告書2020」を作成する。

(2) 経過

- ・ 令和元年11月開催の総合計画審議会で「かながわグランドデザイン 第3期実施計画」の進行管理のあり方について審議し、評価方法等について提言
- ・ 令和2年2月、「評価報告書2019」作成方針の策定
- ・ 令和2年4月、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対策に全庁で注力するため、評価報告書の作成作業を見直し
- ・ 令和3年3月、「評価報告書2020」作成方針の策定（新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対策に全庁で注力するため、「評価報告書2019」に準じた内容とした。）
- ・ 県の事業部局の報告を基に取りまとめた内容について、総合計画審議会（令和3年6月書面開催）において、「評価報告書2020」として了承

(3) 内容

- ・ 「評価の概要」に、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応」を記載するとともに、各プロジェクトの評価の冒頭に、それぞれの「新型コロナウイルス感染症の影響」を記載した。
- ・ 県の重点施策を分野横断的にまとめた23のプロジェクトについて、県の事業部局によりK P Iの進捗状況の確認を行った。

【K P Iの進捗状況】

K P Iの進捗状況	該当K P I数
K P Iの進捗率が100%以上	52
K P Iの進捗率が100%未満	75
令和3年5月末までに未把握	24
合計	151

- ・ 総合計画審議会から、進捗状況等に対する評価やプロジェクトを推進する上での課題等の意見を聴取した。

【主な意見】

〈プロジェクト2「医療」〉

さらなる地域医療の推進のために、医療の質的改善とのつながりを意識した医療資源の配分や配置の最適化が必要となる。

〈プロジェクト7「観光」〉

観光立国をめざすには、コロナ禍のような深刻な打撃もあることを念頭に、受入環境の整備において、感染症対策の施策を検討する必要がある。

〈プロジェクト11「安心」〉

コロナ禍の経済・雇用状況の悪化を背景にして、犯罪増加が懸念されることから、引き続き、地域住民、関係機関・団体、事業者、ボランティア団体等と連携した地道な防犯活動が重要になる。

〈プロジェクト17「雇用」〉

コロナ禍において、サテライトオフィスやテレワークの推進に向けた中小企業の支援とともに、デジタル化に対応できる人材育成のための職業訓練の充実などに注力する必要がある。

〈プロジェクト23「都市基盤」〉

自動車専用道路等などの供用箇所数の増え方が目標値より小さい。行政が関わる事業であるから、進捗管理はしっかり行って、目標を達成できるよう努める必要がある。

(4) 公表

評価報告書は、令和3年7月上旬から県のホームページで公表するとともに、県政情報センターや地域県政情報コーナーで閲覧できるようにする。

2 「第2期 行政改革大綱 令和2年度点検報告書（案）」について

(1) 趣旨

職員・組織・仕事の質を向上させ、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革を推進するため、県は、令和元年7月に「第2期行政改革大綱」を策定した。

本大綱を着実に推進するため、令和2年度の取組状況を取りまとめ、点検報告書（案）を作成したので、報告する。

※ 現在、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」に基づき、全庁を挙げた対策に注力しているため、記載内容を省略するなど、業務の見直しを図った上で作成した。

(2) 点検報告書（案）の概要＜「参考資料2」参照＞

ア 令和2年度の取組

大綱では、5つの取組分野の下、各分野別に具体的な取組方策を整理している。

令和2年度においては、「全庁コロナ・シフト」に注力するなど新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、大綱を実現するため、各方策に基づく取組を推進した。

イ 各取組分野の取組状況

(ア) 働き方改革

職員のワーク・ライフ・バランスを実現し、働きやすい職場環境をつくるため、県庁組織全体で働き方改革に取り組んだ。

（主な取組）

- ・ 業務改善の推進
- ・ 長時間労働の是正に向けた基本取組の徹底
- ・ 職場環境の整備

(イ) 組織・人事改革

社会環境の変化等に迅速かつ柔軟に対応していくため、持続可能な組織・執行体制の構築に向けた取組を推進した。

（主な取組）

- ・ 簡素で効率的な組織・執行体制の構築
- ・ 優秀な職員の採用
- ・ 職場環境の改善
- ・ 内部統制体制の整備・運用

(ウ) 財政改革

厳しい財政状況が続くと想定される中、政策課題に着実に対応していくため、中長期的な視点から、持続可能な財政基盤の確立に向けた取組を推進した。

(主な取組)

- ・ 地方税財政制度の抜本的改革に向けた国への働き掛け
- ・ 県税収入の確保
- ・ 公共施設の計画的な管理・利用

(エ) ICT利活用改革

限られた予算・人材を有効に活用し、質の高い県民サービスを提供するため、新たなICTを積極的に活用するとともに、多様なデータの利活用を支える環境の整備に向けた取組を推進した。

(主な取組)

- ・ 行政事務の更なる電子化の推進
- ・ クラウド適用の原則化
- ・ ICTガバナンスの強化
- ・ 情報化人材の確保

(オ) 情報発信改革

開かれた県政づくりのため、県政への県民の信頼を確保し、理解と参加を促進する視点から、県民との対話による取組を推進した。

(主な取組)

- ・ 緊急・災害時における情報発信の強化
- ・ 全庁的な視点による情報発信のための体制整備と制度運用
- ・ 会計情報・県民利用施設の「見える化」
- ・ 県民参加の推進

ウ 今後の予定

令和3年7月 「点検報告書」を県のホームページに掲載するほか、
県政情報センターや地域県政情報コーナーで公表